2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上 場 会 社 名　カンロ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2216　　URL https://www.kanro.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 村田　哲也
問合せ先責任者　(役職名) 取締役常務執行役員 ＣＦＯ財務・経理本部長　(氏名) 佐藤　光記　(TEL) 03 (3370) 8811

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	25,542	―	2,658	―	2,679	―	1,904	―
2025年12月期第３四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　1,812百万円(　　－%)　2025年12月期第３四半期　－百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	45.41	―
2025年12月期第３四半期	―	―

(注) １．当社は、2025年12月期第３四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年12月期第３四半期の数値及び2026年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
２．2025年７月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	33,206	18,217	54.9
2025年12月期	33,607	18,984	56.5

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　18,217百万円　　2025年12月期　18,984百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	45.00	―	17.00	―
2026年12月期	―	15.00	―		
2026年12月期(予想)				18.00	33.00

(注) １．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
２．2025年７月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合で株式分割を実施しております。2025年12月期第２四半期末の１株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「―」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2025年12月期の１株当たり年間配当金は、32円となります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.0	4,200	△10.5	4,200	△11.5	3,000	△11.2	73.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	42,946,812株	2025年12月期	45,946,812株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,864,503株	2025年12月期	3,808,480株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	41,930,058株	2025年12月期３Ｑ	42,138,720株

※１.2025年７月１日を効力発生日として普通株式１株につき３株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

２.期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）の保有する当社株式（2026年12月期第３四半期995,400株、2025年12月期1,039,500株）が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、［添付資料］２ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、ＴＤｎｅｔで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（収益認識関係） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前第３四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（以下、「当第３四半期」）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善から緩やかな回復基調にあります。しかしながら、中東情勢や自然災害の影響も含め、物価上昇の継続、金融資本市場の変動等が与える個人消費への影響が、景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状態が継続しています。

そのような経済環境の中、キャンディ市場全体の販売金額は前年同期を僅かに上回りました。そのうち、当社の主要事業である飴カテゴリーの市場販売金額は、上期におけるのど飴需要の落ち込みにより前年同期を下回りました。ハード系グミが市場を牽引することで近年大幅な拡大傾向にあったグミカテゴリーでは、前年同期比微増の安定的な成長局面に入りました。

当社は、企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、2025年よりスタートした「中期経営計画2030」に基づき事業を推し進めておりますが、その結果、当第３四半期の売上高は、255億42百万円となりました。

飴は、のど飴の落ち込みをグルメカテゴリーがカバーし、118億96百万円となりました。製品別では、主力ブランドの「金のミルク」シリーズや「ナッツボン」シリーズが好評を博しました。グミは、国内での他社との競争が激化する中、柔らかなグミとハードグミとが二層になった「カンロ ザ・ストロング」シリーズや小売業との取組みグミの好調もあり、131億38百万円となりました。高価値商品「グミッツェル」も、直営店舗ヒトツブカンロ原宿店及び伊勢丹新宿店、羽田空港や阪神百貨店等でのポップアップストアにおいて引続き売上を伸ばしました。また、９月にヒトツブカンログランスタ東京店がリニューアルオープンしたことで、直営店舗の３店舗体制を整え、顧客接点を拡大しました。さらに、子会社のKanro America Inc.も、米国で「ピュレグミ」シリーズを展開し、取扱店舗数及び販売金額は順調に増加しております。素材菓子の売上高は、５億円となりました。

利益面では、新グミライン稼働を見据えた人員増強に伴う労務費等固定費の増加に加え、中東情勢の影響による原材料費や燃料費等の増加に伴い利益率が低下、売上総利益は103億69百万円となりました。

営業利益においても、保管配送費、企業広告宣伝費等の増加、人員増加による人件費増、2025年７月に稼働を開始した新基幹システムの減価償却を始めとするシステム関連経費や米国事業拡大に向けた諸経費等の一般管理費が増加した結果、26億58百万円、経常利益は26億79百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の縮減による特別利益を計上した結果、19億４百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ４億円（1.2%）減少し332億６百万円となりました。

これは主に有形固定資産が39億86百万円、商品及び製品が２億92百万円増加しましたが、売掛金が30億14百万円、現金及び預金が15億32百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ３億67百万円（2.5%）増加し149億89百万円となりました。

これは主に未払法人税等が９億42百万円、未払費用が７億30百万円、未払消費税等を含む流動負債の「その他」が４億68百万円減少しましたが、短期借入金が25億円増加したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ７億67百万円（4.0%）減少し182億17百万円となりました。

これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益19億４百万円の計上と配当金13億81百万円の支払によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年７月31日付「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の据え置きに関するお知らせ」で発表したとおりであります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,321,250	2,789,178
売掛金	10,247,963	7,232,988
商品及び製品	1,312,145	1,604,846
仕掛品	81,675	154,603
原材料及び貯蔵品	568,680	649,065
その他	469,688	393,366
流動資産合計	17,001,403	12,824,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,890,213	10,018,457
減価償却累計額	△6,086,477	△6,256,371
建物及び構築物（純額）	3,803,735	3,762,086
機械装置及び運搬具	16,227,480	17,086,960
減価償却累計額	△11,246,770	△11,560,038
機械装置及び運搬具（純額）	4,980,710	5,526,921
土地	1,497,829	1,497,829
建設仮勘定	3,926,840	7,453,848
その他	1,504,139	1,548,521
減価償却累計額	△1,103,104	△1,192,672
その他（純額）	401,034	355,849
有形固定資産合計	14,610,151	18,596,535
無形固定資産	494,695	434,322
投資その他の資産		
投資有価証券	160,400	29,051
その他	1,340,375	1,322,178
投資その他の資産合計	1,500,776	1,351,230
固定資産合計	16,605,623	20,382,088
資産合計	33,607,027	33,206,137

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,249,322	3,168,841
短期借入金	1,000,000	3,500,000
未払金	2,249,501	2,500,384
未払費用	2,711,300	1,980,744
未払法人税等	1,004,582	62,573
賞与引当金	1,305,199	1,081,196
役員賞与引当金	152,000	111,450
その他	582,313	114,285
流動負債合計	12,254,220	12,519,476
固定負債		
退職給付に係る負債	2,064,149	2,142,404
役員株式給付引当金	183,612	195,687
その他	120,125	131,548
固定負債合計	2,367,887	2,469,640
負債合計	14,622,107	14,989,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,141,805
利益剰余金	13,950,987	13,611,196
自己株式	△742,892	△642,826
株主資本合計	18,650,238	17,974,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,553	6,640
為替換算調整勘定	1,006	5,156
退職給付に係る調整累計額	249,121	230,797
その他の包括利益累計額合計	334,681	242,595
純資産合計	18,984,919	18,217,019
負債純資産合計	33,607,027	33,206,137

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	25,542,074
売上原価	15,172,760
売上総利益	10,369,314
販売費及び一般管理費	7,710,863
営業利益	2,658,451
営業外収益	
受取利息	10,566
受取配当金	2,543
売電収入	8,134
受取ロイヤリティー	11,251
その他	10,666
営業外収益合計	43,163
営業外費用	
支払利息	15,169
売電費用	3,992
その他	2,728
営業外費用合計	21,889
経常利益	2,679,725
特別利益	
投資有価証券売却益	148,513
特別利益合計	148,513
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	3,363
減損損失	97,192
特別損失合計	100,555
税金等調整前四半期純利益	2,727,683
法人税、住民税及び事業税	756,243
法人税等調整額	67,232
法人税等合計	823,476
四半期純利益	1,904,207
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,904,207

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,904,207
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△77,912
為替換算調整勘定	4,150
退職給付に係る調整額	△18,323
その他の包括利益合計	△92,086
四半期包括利益	1,812,120
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,812,120

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,195,218千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社及び当社の連結子会社の事業は菓子食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社及び当社の連結子会社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）	
	金額（千円）	構成比（%）
飴	11,896,774	46.58
グミ	13,138,734	51.44
素材菓子	500,706	1.96
その他	5,858	0.02
顧客との契約から生じる収益	25,542,074	100.0
外部顧客への売上高	25,542,074	100.0

（注）「その他」は、食品以外の雑貨類であります。